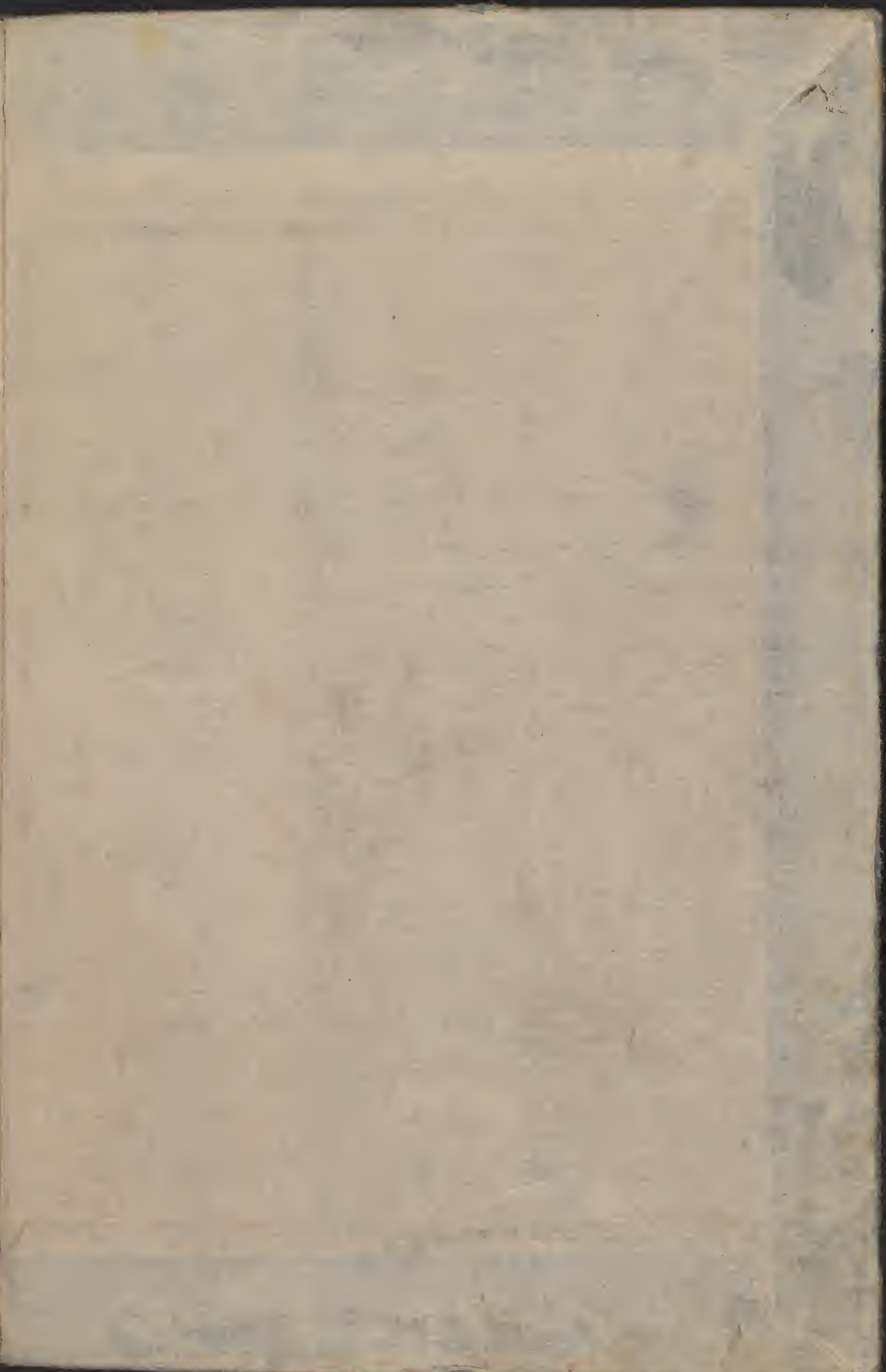


寶篋

繪本高麗山獄

中

75





龍馬

龍馬
 後醍醐帝は御宇出雲國
 鹽冶村實高負がまの
 名ふ之を同線中節成るく
 の乗るまひれ曲とりのて天
 下を人目をおどろかす



柳子

驄

一名九苑虬

唐の郭子儀

の馬なり

子儀の

唐室

中興乃

名長也

鞍の乃

毎

世の

乗

勇と振ふ



春風

きそのらんたてまのらよ
 本曾官者源義仲
 乃妾中原兼遠
 ひとも巴女が馬のり
 乗くたむぐを
 七もむら
 女がう一
 の大抱
 きり



飛蹄子

正治二年九月二日
源頼家小評の
海小舟六朝比宗
二郎義秀海
中に入ると大魚腹
をくちやう斬家
ついでて飛蹄子
と終りんとあり
とたの身又希き
盛が曰我此の依
つとひ幸え
あらば相撲を
勝負あて下さ
べしと共とた



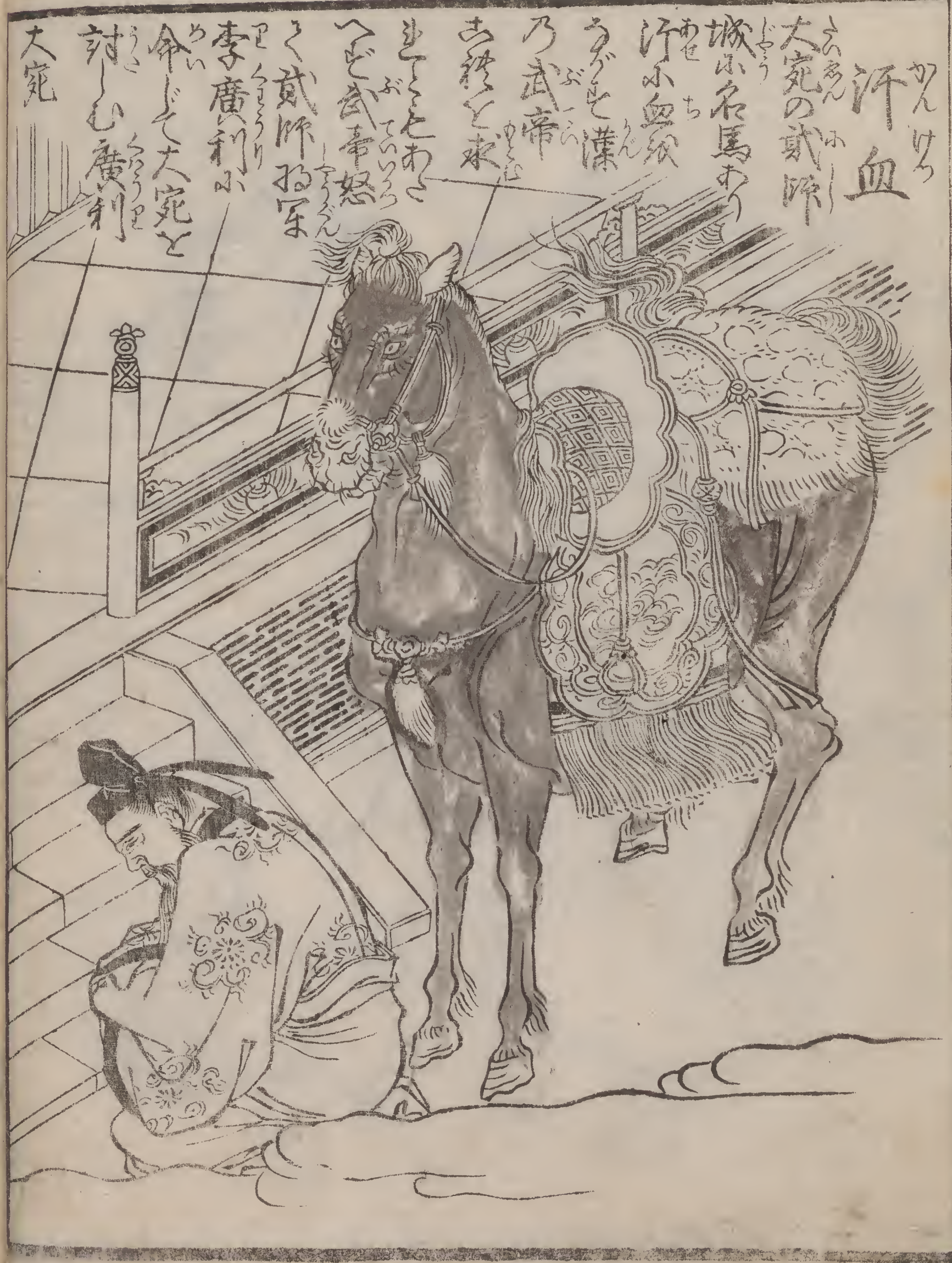
小四郎義時行司

あて取くとけり
兄弟雌雄さ
義とた賞ひ
あせんと引
ついでに
あせり
福のゆかり
ふんふん
けり





王城
 珠
 帝
 たては
 了



汗血
 大宛の武
 城小名馬
 汗小血
 乃武帝
 武終と求
 武帝怒
 李廣利
 命と大宛と
 討心廣利
 大宛

的願

蜀主玄德を

馬の筋

玄德一人室

害業

徳子

志りて

たれ檀

溪の大河

急難

此馬

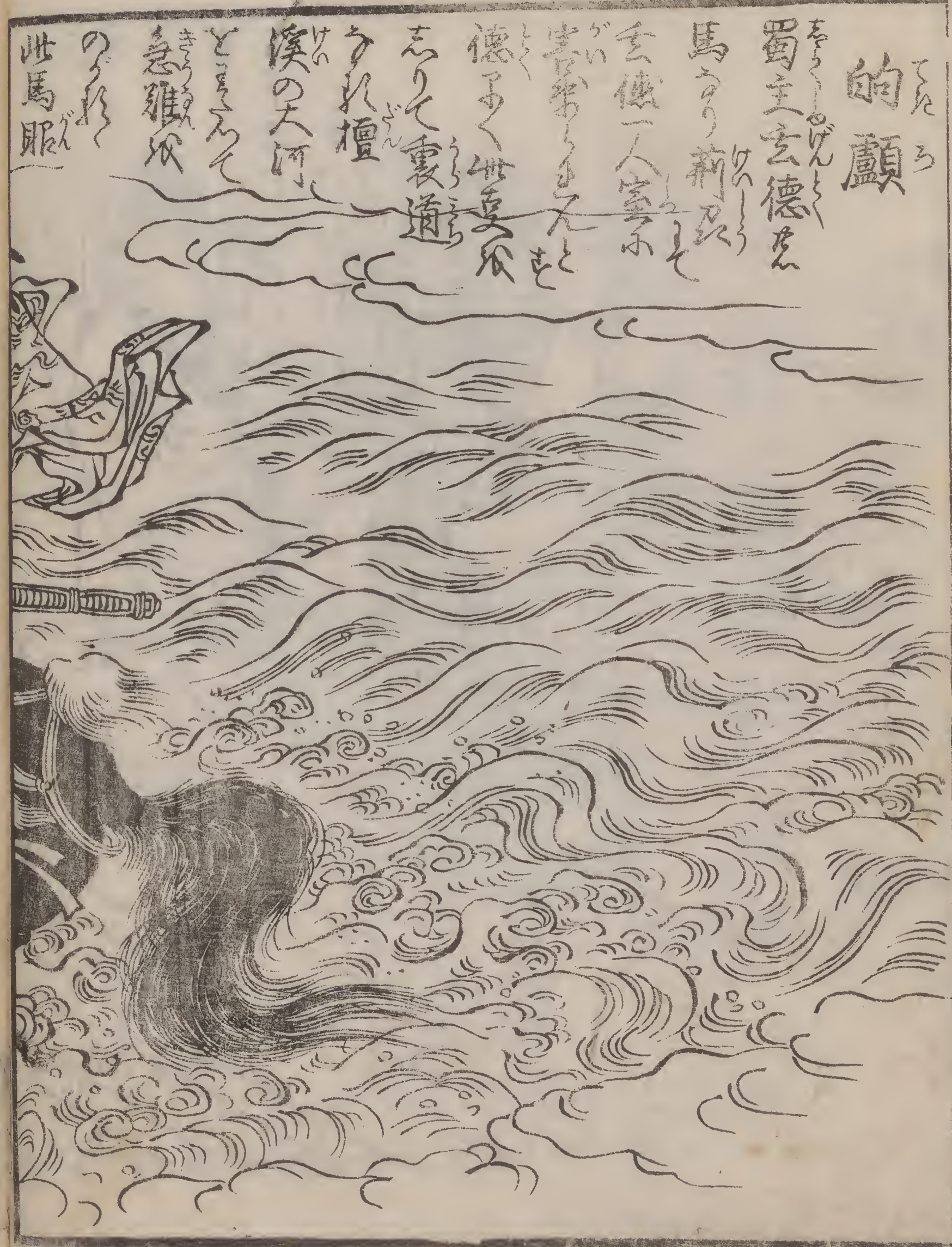
服

白

貴

利

あり





南鐔

平宗盛乃馬守

夏わかれと記し此

とあぢもさあ諸

人具乗るし心

旅力の人共

よろく大カ

志人共

馬は

志不

志不

志神の



